



3月25日の閉校式に向けて、準備も大詰め!

限られた時間の中で、昨年の12月から一生懸命に準備を進めてきた17人の実行委員の子どもたち。自分たちの学校が1956年に誕生したこと、おじいちゃんやおばあちゃんも通った学校であることを知り、閉校式の重さを実感したようでした。教育委員会ではこれまでもお伝えしてきたように、大切な式典である一方、**今回の式を通して、子どもたちが自分事として捉え、町や学校への愛郷心・愛校心を高める学びの機会となるように**、できるだけ**子どもたち主体で活動**できるようサポートしてきました。そのため当日は思わぬハプニングやアクシデントもあるかもしれませんが、保護者、地域の皆様には後輩たちのがんばりを温かい目で見守って頂けると幸いです。

手作り感たっぷりの温かい閉校式を、子どもたちと共にご出席ください。お待ちしております!



実行委員
から
長

これまで、実行委員に立候補した一年生から六年生まで、力を合わせて準備を進めてきました。

思い出に残る閉校式を行いますので、ぜひおこしくください。

檜葉北小学校5年 新田 暖馬



【司会・閉会の言葉係】

当日もすべて子どもたちが進行するのでセリフも入念に練習しています。



【よびかけ係】

お世話になった南小・北小に送る最後のメッセージを考えています。



【思い出スライド係】

卒業アルバムから、紹介する写真を選んで、コメントをつけています。



【三世代トーク係】

自分たち・父母・祖父祖母の三世代で話す共通のテーマを考えています。

地域の皆様・保護者の皆様へ

閉校式当日は、檜葉町最後となる在校生による校歌の鼓笛演奏などもあり、保護者の皆様も含めた多くの地域の皆様のご来場をお待ちしております。一方で、新型コロナウイルスの感染状況にも懸念が残ります。そのため、当日内容を一部変更することもありますので、ご了承ください。また、**万が一、人数制限することとなった場合は、檜葉町のホームページにて、お知らせいたします。**前日にご確認いただくと幸いです（制限をしない場合は、特に掲載しない予定です）。

4月から、榊葉町地域学校協働センターが開所します!!!

先月の県内各紙に掲載されたことで、御存じのかたも少なくないかと思いますが、榊葉町では、地域と学校の連携協働を一層推進させていくとともに、4月からお伝えしてきた、地域住民や保護者がこども園・小中学校の運営等に参画する仕組みであるコミュニティ・スクールを展開するため、新しく榊葉小学校内に地域学校協働センターを設置します。この施設は国内で初となる機関で

「日本一の教育」を目指す榊葉町を象徴するものです。東日本大震災や原発事故による災害から、力強い復興を成し遂げ、これから地域創生を目指す中で、**様々な形での、地域と学校の連携、地域間のネットワーク化、そして地域コミュニティの形成は重要なテーマです!!!** 次号では具体的にどのような取組を、どこで、いつ行うのか、そして参加・参画するにはどうすればよいのかといった情報をお知らせしていきますので、ぜひご期待ください!!!

町の未来をリードするのは、子どもたち、そして、そうした子どもたちを育てるのは教育です。地域全体で子どもを育むすてきな榊葉町を目指して、町民全員で協働していきましょう!!!

榊葉町 地域学校協働センターの概要

現状と課題

- ・薄町した住民同士や、薄町した住民とやむを得ず薄町を混交する住民、新しく移住・定住した住民によって築かれる**地域コミュニティは未だ活性化されていない。**
- ・避難指示解除から6年が経過した現在、**地域のコミュニティ再構築**が大きな課題となっている。
- ・子どもを含めた学習環境の充実に、**地域と学校等の教育施設との協働が重要**となっている。

【文部科学省】子供への学習支援によるコミュニティ復興支援事業
【榊葉町教育委員会】復興に向けた学びを基にした協働のまちづくり事業

センターの設置により、地域と学校の連携・協働をシステム化して一層の推進を図り、多様な地域住民の幅広い教育への参画を実現することで、地域のつながりを形成し、コミュニティの復興を促進する。

事業内容

① 学校運営協議会（コミュニティ・スクール）の運営
こども園や小中学校の運営に保護者や地域の声を反映させる会議を運営。取組も設置し、具体的な教育活動への参画も図る。

② 地域学校協働活動の展開
こども園や小中学校の学校教育活動や、放課後や週末長期休業中の社会教育活動において、地域住民や地域団体の参画を促進し、地域の教育力向上を図る。同時に、地域のネットワーク化も推進。

③ 地域単元・地域教材の開発
地域の教育財を発掘・整理・教材化する。学校教育で「地域を学ぶ」機会を充実させる。

④ 会議委員等とのふるさと教材の開発と交流活動の推進
市として交流している国・市町村との交流による教育を推進。

ソフト

⑤ 地域サロンの運営
小中学校の非給教室を活用して、地域住民や団体のためのコミュニティ・スペースを設置し、運営。子ども教室と連動させ、世代間交流を促進する。

ハード

児童館併設図書
学校園を活用した地域スクール
カーサテック
ななはっ子こども教室
ななはっ子子ども園
ななはっ子こどもセンター
ななはっ子子どもクラブ
ななはっ子子どもセンター
ななはっ子子どもセンター
ななはっ子子どもセンター
ななはっ子子どもセンター

Q & A

Q：榊葉小学校が完成した場合、榊葉中学校のように、体育館などの運動施設は開放されるのでしょうか？ また、工事がまだまだのようですが、その場合は4月から利用できるのでしょうか？

A：学校施設開放についてのご質問、ありがとうございます。小学校も同様に学校教育活動に支障のない範囲内で、開放する予定です。詳細については、次号以降、お知らせする予定です。なお、校庭に新たに建設している放課後児童クラブ（旧 児童館）の建設の関係で、**校庭については、4月当初からの開放は行えない予定です。** 申し訳ありませんが、ご了承ください。



【編集後記】

○ 一年間という短い期間ではありましたが、地域の皆様、お読みくださり、ありがとうございました。「初めて知ったことが多かった!!!」「教育委員会がどんなことをしているのか分かった!!!」など、様々なご感想をお聞きしました。本紙を通じて、「榊葉の教育の今」を少しでも伝えられていたら幸いです。委員会便りは本号で終了となり、次号からは、4月からスタートする地域学校協働センターの便りを発刊いたします。こども園や学校だけでなく、センターが主催する地域向けの講座や、子どもたちとの協働活動について、お知らせする予定です。引き続き、よろしくお祈りいたします!!!（文責：榊葉町教育委員会 猿渡 智衛）